

平成 28 年度 沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウム

テーマ：瀬戸内海環境の将来像を描く

— 隠れた先人の知を掘り起こして未来へ —

主催：沿岸環境関連学会連絡協議会

共催：日本水産学会水産環境保全委員会、生態系工学研究会、
大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム

後援：土木学会海岸工学委員会、環境アセスメント学会、
(一社)全国水産技術者協会、NPO 法人海ロマン 21

開催趣旨

近年の経済高度成長期には、臨海地域から排出される余剰物質により我が国の沿岸海域は荒廃し、生物の生育に不都合な様々な汚染現象が顕れた。殊に昭和 30 年代後半以降、瀬戸内海東部海域での汚染・汚濁の進行は著しく、過栄養化現象に伴う有害赤潮の頻発、重金属類や有機塩素系化合物に起因する汚染、重油流出事故等々、人の健康にも係わる重大な水圏環境汚染が社会生活に著しい影響を与えるようになった。これらを機に水域環境の法的規制の必要性が叫ばれ、環境庁の設置や瀬戸内海環境保全臨時措置法の制定が実現した。その後の多くの法的措置等により水質汚濁の進行は弱まり、今日では瀬戸内海は清澄な環境が回復する傾向にあると言われている。これらは国民の強い声と我が国の水環境施策の遂行がもたらした成果と考えられる。

一方、この数年、沿岸海域の漁獲量の減少や低栄養化に伴う養殖ノリ生産量の減少などの原因として、汚濁負荷の過剰削減などが取りざたされ、水環境評価や漁業生産に好ましい海域環境について見直しの議論が巻き起こっている。

今、瀬戸内海環境の将来像を描く必要性が問われている。その立案には先ず瀬戸内海環境が現状に至った経緯を正しく知る必要があり、また問題点などを直視する必要がある。このような視点から、本シンポジウムでは東部瀬戸内海を対象に先人達の経験と知を掘り起こし、瀬戸内海環境の保全と再生に関する口承を歴史的事象や社会の変化とともに正しく認識・評価し、今後の恵ある瀬戸内海像につなげることを目的とする。

1. 日時：平成 28 年 12 月 16 日（金）10:00-17:30

2. 会場：大阪駅前第 2 ビル 6 階 大阪市立大学 文化交流センター ホール
(定員 120 名)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/institution/bunko>

3. コンビナー：眞鍋武彦、今井一郎、矢持 進、清野聡子

4. プログラム

開会の挨拶 今井一郎（沿岸環境関連学会連絡協議会長、北海道大学大学院）
10:00～10:05
趣旨説明 清野聡子（九州大学大学院）
10:05～10:10

話題提供とコメント等

1) 瀬戸内海環境の歴史（進行役：矢持 進）

①研究現場から

話題提供者

水産：眞鍋武彦（元兵庫県立水産試験場）
10:10～10:30

工学：上嶋英機（元中国工業技術研究所、大阪湾環境
再生研究・国際人材育成コンソーシアム）
10:30～10:50

追加情報の提供

城 久（元大阪府水産試験場）
10:50～11:10

西村 肇（元東京大学工学部）

②行政の観点から

話題提供者

久野 武（元環境省）
11:10～11:30

田中丈裕（元岡山県水産課）
11:30～11:50

追加情報の提供

小林悦夫（元兵庫県環境局）
11:50～12:00

③市民の視点から

鷲尾圭司（元林崎漁協、水産大学校）
12:00～12:20

追加情報の提供

山西良平（元大阪市立自然史博物館）
12:20～12:30

休憩（12:30～13:20）

2) 瀬戸内海環境の現状と問題点（進行役：眞鍋武彦）

話題提供者

①流れの視点から 入江政安（生態系工学研究会、大阪大学大学院）
13:20～13:40

②栄養循環 多田邦尚（香川大学大学院）
13:40～14:00

③水産生物 日下部敬之（生態系工学研究会、大阪府環農水研）
・大美博昭（大阪府環農水研）
14:00～14:20

コメント

西川哲也（兵庫県水産技術センター）

矢持 進（大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム、大阪市立大学）

14:20～14:35

3) 瀬戸内海の将来像 (進行役: 今井一郎)

話題提供者

- ① 研究の視点から 牧 秀明 (国立環境研究所) 14:35～14:55
② 行政の観点から 藤原敏晴 (元国交省、東洋建設) 14:55～15:15
③ 市民の視点から 中岡禎雄 (尼崎市立立花中学校) 15:15～15:35
④ 生態系サービスの視点から (東部瀬戸内海を例に)
大塚耕司 (生態系工学研究会、大阪府立大学大学院) 15:35～15:55

コメント

音掬政啓 (岸和田漁協)

上月康則 (生態系工学研究会、徳島大学大学院)

横山隆司 (大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム)

15:55～16:15

休憩 16:15～16:30

総合討論 進行役 眞鍋武彦 清野聡子 16:30～17:25

閉会の挨拶 清野聡子 17:25～17:30